

広島大学大学院
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

平成 27 年度第 2 回
フェニックスリーダーシップセミナーを開催しました

当プログラムでは学生が修了後の進路を検討するうえで参考にしてもらうためにさまざまな分野のリーダーを講師に迎え毎年リーダーシップセミナーを開催しています。

本年度第 2 回のセミナーは 11 月 12 日に国際原子力機関 (IAEA) Division of Human Health の部門長である Dr. May Abdel-Wahab を招いて「国際機関で求められるリーダーシップ」と題して開催し、当プログラム所属学生 16 名、リーディングプログラム「たおやかプログラム」から 1 名、その他学内 2 名、他大学大学院生 1 名、教職員 14 名の計 34 名が参加しました。

講師の医師・研究者としての経験から、研究者としての心構えやリーダーの人材像について、参加者とのインタラクティブな議論が行われました。国際機関での業務については、多様な背景と専門性を持つチームで合意形成することの難しさがある一方で、科学者として政策決定に関わるなど、臨床医と比較すればより多くの人に影響を与えることができること、職場としてはトレーニングや待遇も充実しており、女性もリーダーとして働きやすい環境であることなど説明がありました。

これまで当プログラムからは 8 名の学生が IAEA で短期または長期のインターンシップを実施しており、今後の実施を希望している学生も熱心に議論に参加しました。参加者からは幅広い内容の情報を得ることができた、また、他の参加者の意見を聞くことができてよかったという意見が聞かれました。

